



連続組手





40人連続組手に 挑戦して

私事ながら、今回40人組手に挑戦することができました。これもご協力いただいた道場生並びに保護者の皆さんのお陰です。ありがとうございました。

私も年齢的に今回が最後の連続組手と考え、決意をもって臨みました。その連続組手に、黒帯の石岡莉星、鮫島凜織をはじめ、茶帯1級の石岡伴理、宮内煌永が入ったことは感慨深いものがあります。この子たちは志成館設立当初に入った子たちで入会時は小学1年生や幼年でした。

小さいうちに空手を始め、黒帯・茶帯まで続く子はなかなか多くありません。その中で、厳しい稽古に耐えながら空手を続けてくれ、立派に成長し、連続組手の相手をしてくれたことは私の空手人生においてこれほど幸せなことはありません。

空手をやっていて本当に良かったと改めて実感しました。



志成館では黒帯（初段）になるためには10人連続組手の挑戦が必須となります。そのため挑戦には長い年月の修業が必要となります。

私も指導員一同も子供たちが長く空手を続けてくれることを念頭に指導していますが、それには保護者の皆さんの協力が必要です。

子供たちが空手を長く続けてくれるよう、道場としても保護者の皆さんの力を借りながら指導に当たっています。

以前、コラムに掲載した「黒帯について」にあるように、黒帯になった時が空手家としてのスタートになります。黒帯は他の道場生の指導をしながら、自分の技術の向上もおろそかにしてはいけません。自分の稽古をしながら指導もしていくのは、なかなか大変な事ではありますが、自分が指導してきた道場生が成長していく様を見ることができることや、今回のように自分の組手の相手になってくれることなどはとても貴重な経験になります。



新たなステージへ

このたび、志成館の指導部も新たなステージに進めます。

新たに技術部を設置し、指導を垣原颯斗先生、石岡莉星先生、鮫島凜織先生の若い力を中心に運営していきます。

代表の垣原政明先生、副代表の恵谷一仁先生も今までどおり指導をしていきますが、今後は若い世代の力になっていきたいと思っています。

引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

